

高橋哲哉 (哲学者)

斎藤貴男 (ジャーナリスト)

対談

加害と再生の地から 現代と未来を語る!

高橋哲哉・斎藤貴男対談

『撫順』—加害と再生の地から現代と未来を語る!

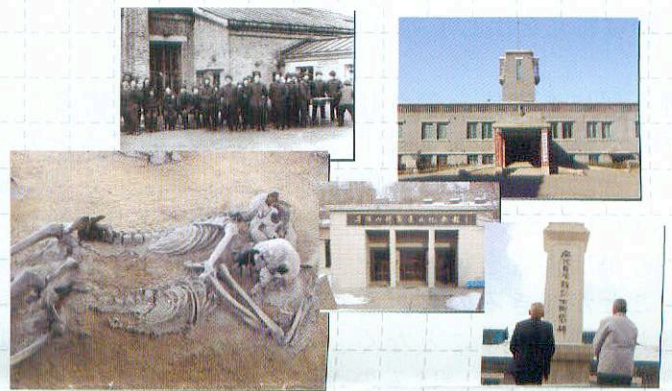
- 日 時： **8月20日 (日)**
13:00開場
13:30開演～16:30
- 場 所： **東京しごとセンター**
B1講堂にて (裏面に詳細)
- 資料代：一般1000円
※学生500円

主な
内容

映像と
元兵士の証言 「平頂山事件」
「撫順戦犯管理所」
対 談 高橋哲哉氏と斎藤貴男氏

なぜ、いま「撫順」なのか。 撫順で何があったのか。

日本兵が一つの村「平頂山」を消し去った「加害の場所」であり、日本兵が戦犯管理所で人間性を取り戻した「再生の場所」である中国「撫順」—。この歴史を通して、これからの日中友好関係を考えてみませんか。ぜひご参加ください。



高橋哲哉さん

Tetsuya Takahashi

哲学者。1956年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科教授。日本にはびこる歴史修正主義などを鋭く批判している。著書に『靖国問題』など多数。



斎藤貴男さん

Takao Saito

ジャーナリスト。1958年生まれ。格差が広がり、監視社会化する状況を深い取材で報告する。著書に『機会不平等』など多数。



【主催】『撫順』から未来を語る実行委員会

お問い合わせ先 TEL03-5396-6067 (中国人戦争被害者の要求を支える会気付 『撫順』から未来を語る実行委員会) FAX020-4624-2381

8.20イベント 『撫順』—加害と再生の地から現代と未来を語る！

なぜ、いま「撫順」なのか。
撫順で何があったのか——。

中国東北部・遼寧省にあるこの小都市には、日本軍による住民虐殺の現場—平頂山殉難同胞遺骨館—と、日本兵が人間性を回復した場所—撫順戦犯管理所—が残されています。

平頂山事件 —— 1932年9月16日、日本軍は、撫順近郊の平頂山地域の住民3000名あまりを機関銃で掃射し、生存者を見つけては刺殺するという残虐な住民虐殺事件を起こしました。日本軍は証拠隠滅のために村全体を焼き、地上から消滅させました。その現場に建てられた平頂山殉難同胞遺骨館には、殺された村人たちの累々たる遺骨が、今もそのまま残されています。この遺骨を目の前にしたとき、人はどうしてこれほどまでに残虐なことができるのかという疑問がわいてきます。

撫順戦犯管理所 —— 日本の敗戦後、旧日本軍の将兵たち約1000人を戦犯として収容した施設です。戦争中に多くの戦争犯罪を犯していた彼らですが、収容された当初は戦犯として扱われることに激怒し、抵抗しました。しかし、人道的な待遇のなかでしだいに人間性を取り戻し、いつしか自分たちの加害行為を被害者の立場から考えられるようになりました。これらの元将兵たちは、人間性を取り戻す過程で何を考え、自らに問いかけ答えを出していったのでしょうか。

理不尽にも家族を殺され自らも負傷した被害者たちの怒りや悲しみ。人を殺すことに対する抵抗感を失った加害者たち。それらの傷跡は癒えることなく今に続いています。どうすれば、加害者が人間性をとりもどし、被害者が加害者を赦し、加害者と被害者の関係を修復することができるのか。そして、どうすれば二度と同じ過ちを繰り返すことなく、ともに友好と平和の未来に向かって歩んでいけるのか。「撫順」は、その問い

を考えるためのヒントを与えてくれているのではないのでしょうか。

戦後61年を経た今、小泉首相の靖国参拝や教科書問題など、東アジアのみならず世界から、日本の歴史認識が問われています。憲法や教育基本法などを考えるときにも、歴史認識の問題を切り離すことはできません。

「撫順」—— この加害と再生の地が私たちに与えてくれているヒントをてがかりに、これらの課題を解決するための道筋、私たちの社会のあり方についても考える機会となれば幸いです。

2006年5月10日 『撫順』から未来を語る実行委員会

これまで「撫順」とかかわり、運動を行ってきた市民団体(平頂山事件の勝利をめざす実行委員会・撫順の奇蹟を受け継ぐ会・中国戦争被害者の要求を支える会)が協力しあって、この実行委員会をつくっています。

■撫順の奇蹟を受け継ぐ会

<http://www.tyukiren.org/>

■中国人戦争被害者の要求を支える会

<http://www.suopei.org/index-j.html>

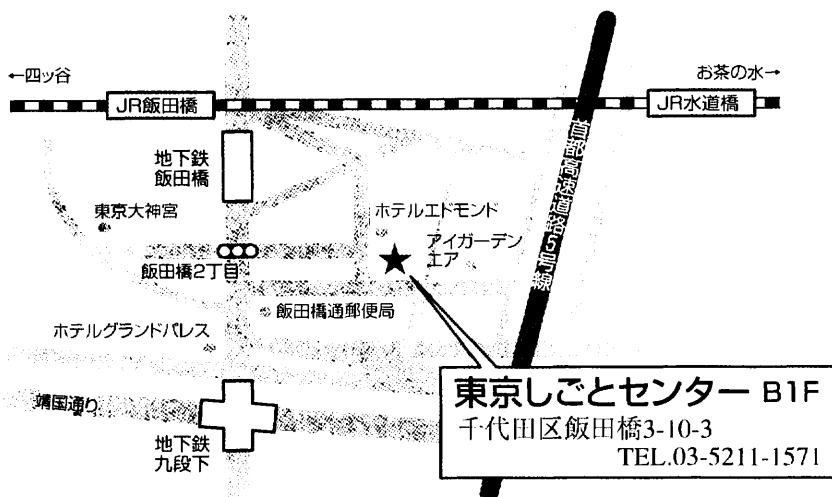
■平頂山事件の勝利をめざす実行委員会

<http://www.suopei.org/saiban/heichouzhan/index.html>

カンパのお願い

振込先 郵便振替
口座番号 00150-0-335468
名称 「撫順」から未来を語る実行委員会

シンポジウム開催場所 —地図・交通アクセス—



飯田橋駅から

- JR中央線「東口」より徒歩7分
- 都営地下鉄大江戸線・東京メトロ有楽町線・南北線「A2出口」より徒歩7分
- 東京メトロ東西線「A5出口」より徒歩6分

水道橋駅から

- JR中央線「西口」より徒歩8分

九段下駅から

- 東京メトロ東西線「7番出口」より徒歩8分
- 東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄新宿線「3番出口」より徒歩10分